

P T A 研修旅行

12月1日土曜日、秋晴れの下、京都方面へのP T A研修旅行が行われました。今年、7月の西日本集中豪雨災害、9月の北海道胆振東部地震、毎年日本列島を直撃する大型台風など、多くの自然災害に悩まされています。身近な所では、6月に大阪北部地震や米原市での竜巻発生など、予測不能な自然災害が起こっています。



毎年やってくる台風や最大クラス（M9超）の地震が発生する可能性があると言われていた南海トラフ地震など、災害時に不可欠な防災知識やどのように行動すればよいのかを学ぶ体験をしました。いくつかある体験プログラムの中から、「地震体験」と「都市型水害体験」を体験し、自然災害の恐ろしさと、防災知識について学ぶことができました。

昼食は、伏見にある「黄桜カッパカントリー」で食材や調理法、空間までこだわった店内で、季節野菜がふんだんに使われたお弁当をいただきました。食後は、伏見の街

並みを散策しました。伏見は、名水が湧き出るだけでなく、日本の歴史に深く関わった土地でもあります。幕末動乱期の舞台となった寺田屋もすぐ近くににあります。現存する寺田屋は、一度焼失しましたが、当時のものを忠実に再現したものだそうです。庭には龍馬の銅像があり、建物の中も別途料金は必要ですが、見学することができました。

その後、久御山にあります、コカ・コーラボトラーズジャパンに工場見学に行きました。ここでは、誕生から現在までの歴史を学び、製造風景を見学しました。炭酸の中にいるような体験ができるバブルブースやタブレットで挑戦できるクイズなど時間が経つのがあっという間でした。

バスの中では、自己紹介や先生方からの普段の子どもたちの様子等も話があり、終始和やかな一日となり、たいへん有意義な研修旅行となりました。

